

# イベント&情報

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

## ミュージアムコンサート

美術館の調べ

● 4月3日(土)

泉麻衣子ピアノリサイタル

<演奏曲目> ブラムス「8つのピアノ小品」「ラプソディー」ほか

<出演者からのひと言> 情感豊かなブラ

ムスの作品を中心にお届けさせていただきます。楽しんでいただければ幸いです。(京都市立芸大大学院在籍中。第10回日本演奏家コンクール第3位ほか受賞多数)

エントランスホールにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 4月10日(土)

長谷川真弓ソプラノ名曲コンサート  
~歌うは愛する業なり~

<演奏曲目> モーツァルト「すみれ」/成田為三「浜辺の歌」ほか

<出演者からのひと言> 詩情豊かなピアノ伴奏にのせて、春らしい名曲を澄명한優しい歌声でお贈りします(愛知県立芸大卒。フリーのソプラノ歌手として活躍中)◎榎原契保(ピアノ。京都市立芸大、ポーランド国立カトヴィツエ音大卒)

エントランスホールにて 14:00~ 無料

美術館の調べ

● 4月17日(土)

ヴァイオリン&ピアノ デュオコンサート

<演奏曲目> ビーバー「描写的ソナタ」/ストラヴィンスキー「イタリア組曲」ほか

<出演者からのひと言> バロック、古典、近現代と、時代に沿った音楽の流れをお楽しみください。◎谷本華子(ヴァイオリン。国内外のコンクール受賞を経て、バロックから現代までソロ、室内楽を中心に活動中)◎奈良田朋子(ピアノ。京都市立芸大を首席で卒業後、フランスに約7年留学。数々の国際コンクールに入賞)

ホワイエにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 4月24日(土)

<室内合奏団THE STRINGSレクチャーコンサート>  
~弦楽五重奏におけるコントラバスの存在感~

<演奏曲目> ビゼー「カルメン」よりプレリユード/ヴィヴァルディ「四季」"春"より第1楽章 ほか

<出演者からのひと言> 当楽団の目指す啓蒙となるコンサート。有意義な時間になることと思います。有名な楽曲を通じ展開していきます。お楽しみに。(06年結成。柳田耕治氏を音楽監督に迎え翌年デビュー。08年にNPO法人化。音程と和声を重んじた均衡ある調和を作り出すそのアンサンブルは、バロック音楽を中心に古典・現代音楽・映画音楽と幅広い)◎上川忠昭、安田華香(ヴァイオリン)◎中川菜月(ヴィオラ)◎森左介(チェロ)◎三井脩平(コントラバス)

アトリエにて 14:00~ 無料

美術館の調べ

● 5月1日(土)

町田百々子&林 香世ジョイントコンサート



<演奏曲目> ブッチーニ「ラ・ボエーム」より「告別の歌」/ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」より「今の歌声は」ほか

<出演者からのひと言> 神戸をこよなく愛する2人が、オペラアリアや宮澤賢治の詩による二重唱を初夏の風に乘せてお届けします。◎町田百々子(ソプラノ。京都市立芸大卒。05年奏楽堂日本歌曲コンクール入選)◎林香世(ソプラノ。京都市立芸大大学院修了。第27回イタリア声楽コンクール入選)◎佐藤裕美子(ピアノ)

エントランスホールにて 14:00~ 無料

美術館の調べ

● 5月8日(土)

岡本暁子ピアノリサイタル~各作曲家の傑作によるパッハからヒナステラまで~

<演奏曲目> パッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」より前奏曲とフーガ/ベートーヴェン「ピアノソナタ「熱情」」ほか

<出演者からのひと言> 美しいパッハの作品、ベートーヴェンの大傑作、印象派の絵画のようなドビュッシー、情熱的なヒナステラを演奏します。(桐朋学園大卒、オーストリア国立モーツァルトテウム音大大学院修了。パドヴァ国際コンクール第1位)

エントランスホールにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 5月15日(土)

田中裕絵(フルート)&中村友美(ピアノ)ジョイントコンサート

<演奏曲目> ベーム「エレジー」/ラフマニノフ「樂興の時 作品16」より ほか

<出演者からのひと言> 新緑の季節にふさわしいフレッシュなコンサートを楽しんでいただければ幸いです。◎田中裕絵(フルート。神戸女学院大学院修了。ソロをはじめ多数の演奏会に出演)◎中村友美(ピアノ。神戸女学院大卒。現在はソロ、室内楽や伴奏等で活動中)

エントランスホールにて 14:00~ 無料

美術館の調べ

● 5月22日(土)

水越美鈴リコーダーリサイタル  
~バロック音楽への誘い~

<演奏曲目> ヘンデル「リコーダーソナタ 八長調」/テレマン「リコーダーソナティーナ 八短調」ほか

<出演者からのひと言> リコーダーの素朴な美しい音色で心安らぐ音楽をお届けするとともに、バロック時代へと誘います。ぜひお楽しみください。◎水越美鈴(大阪音大卒。現在、関西を中心にソロ活動、教授活動を展開中)◎高本一郎(リュート。相愛大卒。フランス国立ストラスブル音楽院にて研鑽を積む)

エントランスホールにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 5月29日(土)

<伽羅のしらべレクチャーコンサート>

~能管と琵琶による音の宴~



<演奏曲目> 「白菊幻想」「森の息吹を夢見て」ほか

<出演者からのひと言> 能管と琵琶が響きに宿す物悲しさと激しさを、器楽曲と琵琶語りでたっぴりとお聴き下さい。(「伽羅」は名香・キャラの香を聞くごとく、響きを聴いてもらえるように、と願って名づけた2人のユニット名)◎野中久美子(能管。古典曲の演奏に加え、和洋の楽器や民族楽器、朗読や舞とも創作・共演を行う)◎川村旭芳(筑前琵琶。伝統的な語り芸を継承しつつ、他分野との共演にも力を注ぐ)

アトリエにて 14:00~ 無料

## 舞台芸術

マジックショー

● 4月25日(日)

Mr.Keiによるマジックショー

<演しもの> ローブマジック、風船マジック、カードマジックなど

<出演者からのひと言> 観客参加型のマジックは大好評。Mr.Keiがマジックの世界へと誘います。マジックの不思議さと楽しさをぜひ体験してください。(マジシャンの叔父を持ち、クローズアップ・マジックからサロン・ステージマジック、さらにはイリュージョンまで幅広く演じる。脱出王の異名を持つハリー・フーディーニの曾孫弟子。ホテルや豪華客船クルーズでのショー出演も多数)

エントランスホールにて 1回目12:30~/2回目14:30~の2回公演  
無料



## シネマサロン

<KEN-VI名画サロン>



「ココ・シャネル」

● 4月9日(金)・10日(土)

1954年、パリ。70歳のココ・シャネルの15年ぶりのコレクションは酷評され、失敗に終わった。ココは自分の生涯を振り返る。12歳にして母を亡くし、姉とともに孤児院で育ったあと、お針子として働き始める。そこで上流社会のエチエヌと知り合い、新しいファッションに目覚めていく。やがてパリ郊外に帽子の店を出し、ファッション界での成功への階段を上り始める…。(仏・伊・米映画138分)

<監督> クリスチャン・デュゲイ  
<出演> シャーリー・マクレーンほか

ミュージアムホールにて  
両日とも1回目10:30~/2回目13:30~の2回公演  
1人1,000円

<県史シネマクラシック>

「心の旅路 Random Harvest」

● 5月21日(金)

第一次大戦で記憶喪失になった男が美しい踊り子と愛し合い結婚するが、記憶が戻ったとたん彼女の存在を忘れ、故郷に帰って実業家として成功する。彼女は夫の行方を突き止めてその秘書となり、献身的な愛で思い出を甦らせようとするが…。(アメリカ映画127分)

<原作・監督> マーヴィン・ルロイ  
<制作> ロナルド・コールマン、グリア・ガースンほか

ミュージアムホールにて  
1回目10:30~/2回目14:00~の2回公演 1人800円

